

# 授業科目 精神保健福祉論Ⅰ

【担当教員名】 近藤 あゆみ		対象学年	3	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）	
		開講時期	前期	必修選択	選択	
		単位数	4	時間数	60	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	○	○	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 精神障害者の相談援助活動と精神保健福祉法との関わりについて知るとともに、精神障害者の支援に関する制度、福祉サービスや関係諸機関について理解する。また、社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を身につける。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神保健福祉法の意義と内容を説明することができる。</li> <li>2. 精神障害者の福祉制度の概要と福祉サービスの内容を説明することができる。</li> <li>3. 精神障害者に関連する社会保障制度の概要を説明することができる。</li> <li>4. 相談援助に係わる施設、団体、関係機関及び専門職や地域住民との協働について述べるすることができる。</li> <li>5. 更生保護制度の概要と精神障害者福祉との関わりについて説明することができる。</li> <li>6. 医療観察法の概要を説明することができる。</li> <li>7. 医療観察法における精神保健福祉士の専門性と役割を説明することができる。</li> <li>8. 社会資源の調整・開発に係わる社会調査の意義、目的、倫理、方法及び活用の仕方について述べるすることができる。</li> </ol>						
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員			
1-2	精神障害者の相談援助活動と精神保健福祉に関する制度とサービス	1, 2	講義			
3-6	精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化	1, 2	講義			
7-9	精神保健福祉法の概要	1, 2	講義			
10-12	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス	1, 2	講義			
13-16	精神障害者に関連する社会保障制度の概要	3	講義			
17-19	相談援助にかかわる組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者	4	講義			
20-22	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係	5	講義			
23-27	医療観察法の概要と実際	6, 7	講義			
28-30	社会資源の調整・開発にかかわる社会調査	8	講義			
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		精神保健福祉に関する制度とサービス 第2版	日本精神保健福祉士養成校協会	中央法規	2013・2,700円	
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 出席状況、授業態度、レポート課題、小テスト、 期末試験の成績により行う。		【履修上の留意点】 原則として「精神保健学」「精神医学」を履修済みの者に限定する。				